

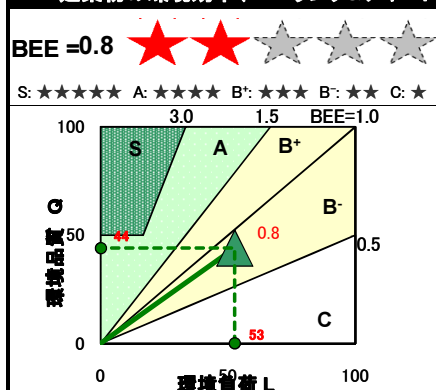
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)たのしい家堀川今出川 新築	階数	地上3F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	60 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,640 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年12月 予定	評価の実施日	2010年10月21日
敷地面積	1,567 m ²	作成者	
建築面積	875 m ²	確認日	2010年10月21日
延床面積	2,473 m ²	確認者	

外観パース等

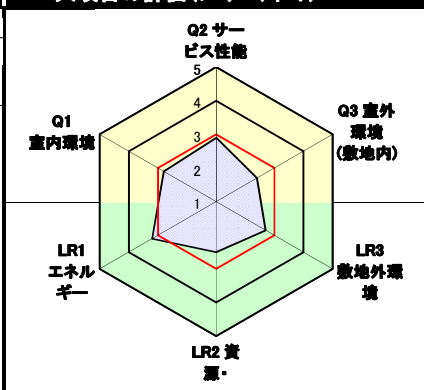
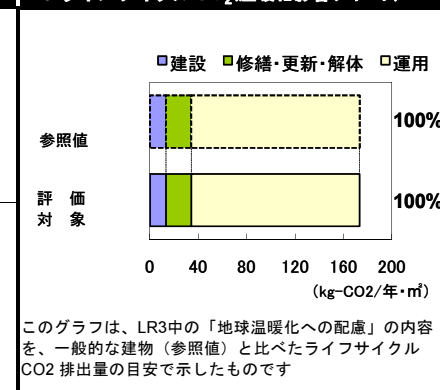
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

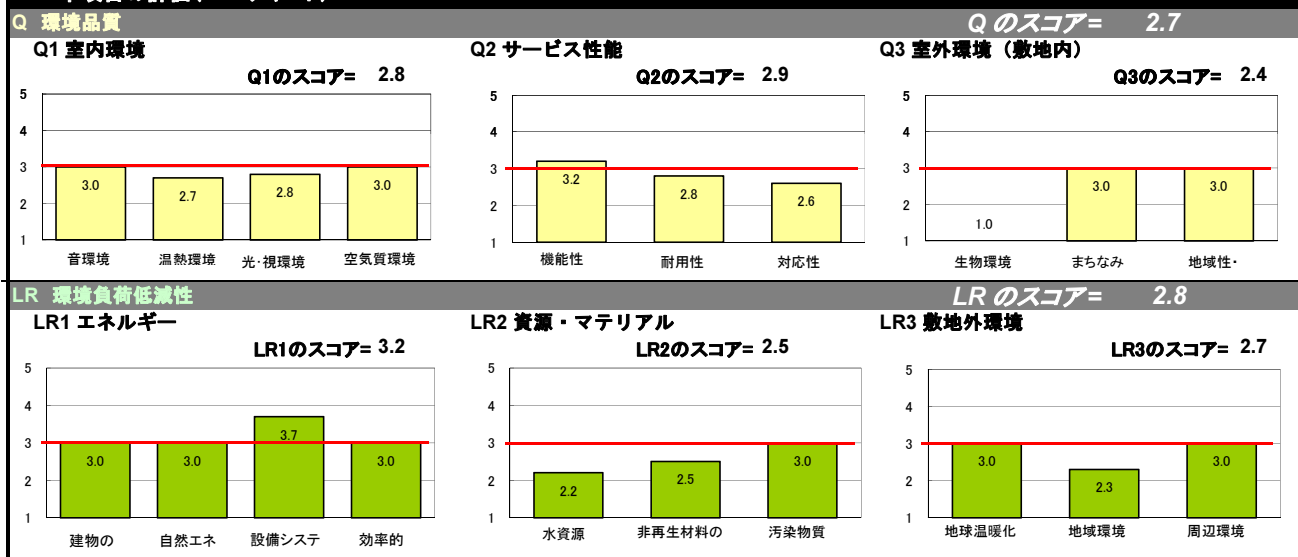
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
当建物の外観は市景観条例に基づき近隣との調和に努め計画しました。又、設備的な環境配慮として省エネルギー法における機種を選定するよう努めました。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準に適合するよう設備計画などに配慮しました。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される